

総務教育常任委員会資料

(平成25年5月21日)

【 件 名 】

- | | | |
|----|---|----|
| 1 | 県立琴の浦高等特別支援学校開校後の状況について（特別支援教育課） | 1 |
| 2 | いじめ対策「明日へつなぐ心のキャンペーン」について
（いじめ・不登校総合対策センター） | 2 |
| 3 | 平成26年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項について
（高等学校課・小中学校課・特別支援教育課） | 4 |
| 4 | 体罰に係る調査結果について（高等学校課・小中学校課・特別支援教育課） | 6 |
| 5 | 今後の県立高等学校の在り方に係る県教育審議会への諮問について
（高等学校課） | 11 |
| 6 | 平成24年度子ども読書に関するアンケート結果について
（家庭・地域教育課） | 12 |
| 7 | 平成24年度小・中・高校生のケータイ・インターネット等の利用に係る
実態調査結果について（家庭・地域教育課） | 14 |
| 8 | 平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
（スポーツ健康教育課） | 16 |
| 9 | 平成24年度体力・運動能力調査（新体力テスト）結果について
（スポーツ健康教育課） | 20 |
| 10 | 学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について
（スポーツ健康教育課） | 25 |

教 育 委 員 会

県立琴の浦高等特別支援学校 開校後の状況について

平成25年5月21日
特別支援教育課

4月10日に開校した琴の浦高等特別支援学校の活動の様子について報告します。

○5月2日(木)、校外学習(遠足)

町内の徒歩遠足を実施しました。遠足コースや実施方法は、「鳴り石の浜プロジェクト」の方の協力を得ながら生徒実行委員会が企画し、地域の方との交流を深めることのできた一日となりました。

<鳴り石の浜>



<神崎神社>



琴浦町では地域活性化を目的とした「鳴り石の浜プロジェクト」が進められています。琴の浦高等特別支援学校においても、鳴り石の浜地域連携事業を予算化しており、地域貢献活動を進める中で同プロジェクトと連携した取組を今後進める予定です。

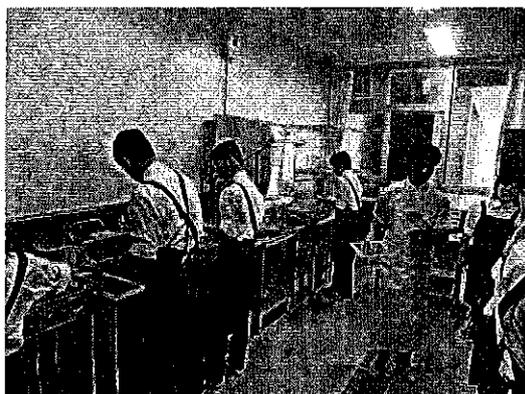
○作業実習の実施状況

農業「葉物野菜の温室栽培」、食品衛生「パン作り」、サービス「接客」等の学習を新しく整備した施設で進めており、生徒は生き生きと学習に取り組んでいます。

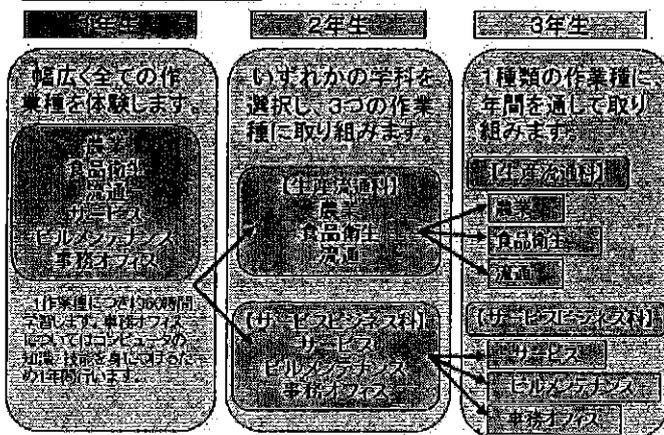
今後は、外部から専門家を招き、より専門的なスキルを高めていくことも予定しています。

1年次は5つの作業種を2ヶ月程度のローテーション(事務オフィスの内容については通年で学習)ですべて学習する予定であり、現在、第1クールの学習を行っています。

<サービス>



学科選択の流れ



<食品衛生>



いじめ対策「明日へつなぐ心のキャンペーン」について

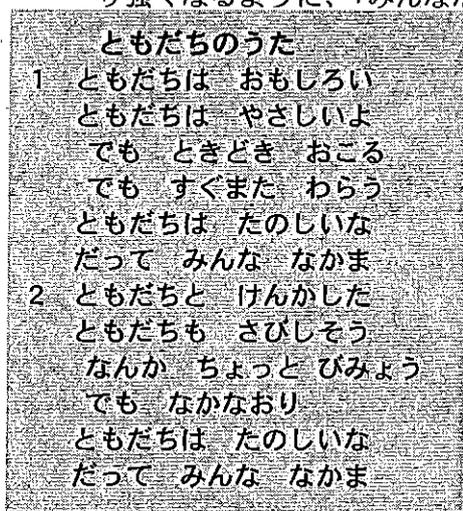
平成 25 年 5 月 21 日
いじめ・不登校総合対策センター

いじめ問題の取り組みについては、早期・適切な対応とともに、未然防止の取り組み、いじめを生まない集団づくりが必要であり、その推進にあたっては、こどもたち自身が問題を自覚し、好ましい行動をするように育っていくことが大切です。

そこで、正義・仲間を大切にする集団文化を醸成するために、幼児、児童、生徒が取り組む活動に対して、次のように応援することとしました。

<対象：幼稚園・保育所（園）・認定こども園>

- 子どもたちに歌ってもらう「ともだちのうた」を作成し、CDを各幼稚園・保育所（園）・認定こども園にプレゼントする。
- 「ともだちのうた」を歌ったり、仲間づくりの活動を行うときに、子どもたちの一体感がより強くなるように、「みんななかまバッジ」を希望する保育園・幼稚園にプレゼントする。



CD



みんななかまバッジ



幼児へのメッセージ

みなさん、保育園（保育所・幼稚園・こども園）で、元気に遊んでいますか。ともだちとなかよくしていますか。

ときには、ともだちとけんかをするかもしれないかもしれませんが、家に帰るまでには、また仲直りをして、「またあした、ともだちと遊びたいな。お話したいな。」という気持ちになって、毎日元気いっぱい、保育園（保育所・幼稚園・こども園）に通ってくださいね。

そんな気持ちを歌にしました。「ともだちのうた」という歌です。ぜひ、ともだちといっしょに大きな声で歌ってみてください。

（「ともだち」のところは「〇〇ちゃん」とか、「おもしろい」のところは「力持ち」とか「がんばりや」とか、ともだちのいいところを入れた「替え歌」にしてもいいですよ。）

（元気よく歌った人には、「みんななかまバッジ」をプレゼントします。服やかばんにつけてください。）

鳥取県教育委員会

<対象：小・中・高校・特別支援学校>

- いわゆる「いじめゼロ集会」や「いじめゼロ宣言」等、いじめをなくしていこうとする児童会・生徒会等の取り組みや、集団づくり、仲間づくりの取り組みを奨励する意味で、希望する学校（学年・学級・委員会・部活動などの単位でもよい）に、「明日へつなぐ心のバッジ」をプレゼントする。また、希望する小学校・特別支援学校に「ともだちのうた」CDを配布する。

明日へつなぐ心のバッジ



児童生徒へのメッセージ

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に通っている皆さんへ

鳥取県教育委員会

学校は、仲間との交流や磨きあいを通して成長していくための場所です。そのためには、だれもが楽しく過ごせる学校であること、だれもが明るい気持ちで活動できる集団であることが必要です。

しかし、ひとたびいじめが始まると、気持ちは暗く沈み、楽しいものであるはずの学校はつらく苦しいものになります。

いじめは、人と人とのつながり、やさしさ、正義、勇気、健康、生命、将来への夢や希望、可能性など、人間にとって大切なものを奪っていきます。

児童生徒の皆さん、自分たちにとってどんな学校がよいのか、みんなで考えてみてください。そして、ぜひ自分たちの力で、だれもが行きたくなるような学校をつくっていきましょう。

鳥取県教育委員会では、そんな気持ちや行動を応援したいと考えました。「仲間を大切にしよう」「自分たちでいじめをなくしていこう」というようなねらいで行われる活動（たとえば、いわゆる「いじめゼロ集会」、「いじめゼロ宣言」、いじめをなくす呼びかけ、集団づくり、仲間づくりの取り組みなど）に対して、「明日へつなぐ心のバッジ」（「心をつなぐ 仲間をつなぐ 明日へつなぐ」という言葉が入っています）をプレゼントします。取り組む単位は、児童会・生徒会でも学年・学級でも部活動でもかまいません。希望する団体は、学校の先生を通して申し込んでください。

また、希望される小学校・特別支援学校には、CD「ともだちのうた」も送ります。

平成26年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項について

平成25年5月21日
高等学校課
小中学校課
特別支援教育課

項目	平成26年度採用候補者選考試験	平成25年度採用候補者選考試験
実施要項等の交付及び出願期間	平成25年5月15日(水)から 平成25年6月5日(水)まで	平成24年5月15日(火)から 平成24年6月5日(火)まで
試験期日	【一次試験】 平成25年7月27日(土) 平成25年7月28日(日) ----- 【二次試験】 ○小学校教諭、中学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭 平成25年9月17日(火) ～9月20日(金) ○中学校・高等学校教諭共通、高等学校教諭 平成25年9月21日(土) ～9月22日(日)	【一次試験】 平成24年7月28日(土) 平成24年7月29日(日) ----- 【二次試験】 ○小学校教諭、中学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭 平成24年9月10日(月) ～9月13日(木) ○高等学校教諭 平成24年9月14日(金) ～9月15日(土)
受験資格(年齢要件)	50歳未満 (平成26年4月1日現在)	50歳未満 (平成25年4月1日現在)
【新設】 中学校・高等学校教諭共通	国語、数学、英語の3教科については、 中学校教諭と高等学校教諭の選考試験を共通で実施	
【特別選考Ⅰ】 現職教諭を対象とした選考	・他の都道府県の公立又は国立大学法人が設置する小学校、中学校、特別支援学校に、小学校教諭、中学校教諭(数学・理科・英語)、特別支援学校教諭のいずれかとして正式に採用され、3年以上勤務し、かつ、現在も勤務している者 ----- ・採用予定数は、小学校教諭、中学校教諭、中学校・高等学校教諭共通及び特別支援学校教諭の採用予定数に含む ・一次試験は面接試験のみ実施	・他の都道府県の公立又は国立大学法人が設置する小学校、中学校、特別支援学校に、小学校教諭、中学校教諭(数学・理科)、特別支援学校教諭のいずれかとして正式採用され、3年以上勤務し、かつ、現在も勤務している者 ----- ・採用予定数は、小学校教諭、中学校教諭及び特別支援学校教諭の採用予定数に含む ・一次試験は面接試験のみ実施
【特別選考Ⅱ】 スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考	・高等学校卒業後にスポーツ・芸術の分野で優秀な成績を収めた者 ・中学校教諭、中学校・高等学校教諭共通及び高等学校教諭の選考試験を実施する全教科(科目等) ----- ・スポーツ・芸術の分野に直接関連する教科(保健体育・音楽・美術)の志願者については、一次試験を免除 ・採用予定数は、中学校教諭、中学校・高等学校教諭共通及び高等学校教諭の採用予定数に含む	・高等学校卒業後にスポーツ・芸術の分野で優秀な成績を収めた者 ・中学校及び高等学校教諭の選考試験を実施する全教科(科目等) ----- ・スポーツ・芸術の分野に直接関連する教科(保健体育・音楽・美術)の志願者については、一次試験を免除 ・採用予定数は、中学校及び高等学校教諭の採用予定数に含む
【特別選考Ⅲ】 身体に障がいのある者を対象とした選考	・身体障害者手帳の被交付者(1級～6級) ----- ・選考試験を実施する全試験区分 ・採用予定数は、小学校教諭・中学校教諭3人程度、特別支援学校教諭2人程度とし、高等学校教諭及び養護教諭については採用予定数に含む	・身体障害者手帳の被交付者(1級～6級) ----- ・選考試験を実施する全校種・職種 ・採用予定数は、各校種・職種の採用予定数に含む
採用予定数	小学校教諭 85人程度 中学校教諭 29人程度 中学校・高等学校教諭共通 25人程度 高等学校教諭 3人程度 特別支援学校教諭 20人程度 養護教諭 6人程度 計 168人程度	小学校教諭 95人 中学校教諭 50人 ----- 高等学校教諭 5人 特別支援学校教諭 20人 養護教諭 7人 計 177人

特 徴	<p>【新設】</p> <p>○国語、数学、英語の3教科については、中学校教諭と高等学校教諭の選考試験を共通で実施</p> <p>・優秀な教員を確保するため</p>	
	<p>【特別選考Ⅰ】</p> <p>○現職教諭を対象とした特別選考の対象教科に中学校教諭（英語）を追加</p> <p>・優秀な教員を確保するため</p>	<p>【特別選考Ⅰ】</p> <p>○小学校教諭の現職教諭を対象とした特別選考の継続と、中学校（数学・理科）教諭、特別支援学校教諭の現職教諭を対象とした特別選考の新設</p>
	<p>【特別選考Ⅱ】</p> <p>○変更なし</p>	<p>【特別選考Ⅱ】</p> <p>○スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考において、その分野に直接関連する教科（保健体育、音楽、美術）の志願者の一次試験を免除</p> <p>・優秀な教員を確保するため</p>
	<p>【特別選考Ⅲ】</p> <p>○小学校教諭・中学校教諭3人程度、特別支援学校教諭2人程度の採用予定数を明記</p>	
	<p>【併願】</p> <p>○中学校教諭及び中学校・高等学校教諭共通志願者の内、小学校教諭普通免許状所有者について、小学校教諭との併願を可能として実施</p> <p>・より優秀な教員を確保するため</p> <p>○中学校教諭（技術）以外の中学校教諭及び中学校・高等学校教諭共通志願者の内、中学校教諭普通免許状（技術）所有者について、中学校教諭（技術）との併願を可能として実施</p> <p>・優秀な教員を確保するため</p> <p>○小学校教諭志願者の内、中学校教諭普通免許状（技術）所有者について、中学校教諭（技術）との併願を可能として実施</p> <p>・優秀な教員を確保するため</p>	<p>【併願】</p> <p>○中学校教諭志願者の内、小学校教諭普通免許状所有者について、小学校教諭との併願を可能として実施</p> <p>・より優秀な教員を確保するため</p> <p>○中学校教諭及び高等学校教諭では、「国語」「数学」「英語」の併願を可能として実施</p> <p>・従来実施していた「英語」に加え、本年度から「国語」「数学」においても併願を可能として実施</p> <p>・より優秀な教員を確保するため</p>
	<p>【全体】</p> <p>○高等学校教諭の採用の状況は依然厳しい</p> <p>○小学校書写の実技試験に代えて、小学校外国語活動に関する実技試験を実施</p> <p>・外国語活動において、児童に学習指導要領に則った力をつけるための資質を問うため</p>	<p>【全体】</p> <p>○小学校教諭の採用予定者数の増</p> <p>・今後の退職者の増が見込まれるため</p> <p>・少人数学級拡充による必要教員数増のため</p> <p>○中学校教諭の採用予定者数の増</p> <p>・今後の退職者の増が見込まれるため</p> <p>・少人数学級拡充による必要教員数増のため</p> <p>○高等学校教諭の採用の状況は依然厳しい</p> <p>○特別支援学校教諭の採用予定者数の増</p> <p>・今後の退職者の増が見込まれるため</p> <p>・高等特別支援学校の開校（平成25年度）に伴う定数増が見込まれるため</p>

<参考>

実施要項のホームページ掲載日：平成25年5月15日（水）

体罰に係る調査結果について

平成25年5月21日
高等学校課
小中学校課
特別支援教育課

県内の公立学校における体罰の実態調査（文部科学省調査）について、このたび、その結果を取りまとめました。

1 体罰に係る調査の概要

(1) 調査対象

県内の公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員、児童生徒及び保護者

(2) 調査内容

学校における体罰の有無及び内容等について

(3) 調査方法

① 児童生徒及び保護者

調査用紙を配付し、家庭で記入した後に学校に提出、管理職等が確認

② 教職員

調査用紙を配付し、記入した後に管理職に提出、管理職等が確認

(4) 対象期間

平成24年度中

(※平成23年度以前の体罰についても、記載可能な調査様式とした)

2 調査により新たに把握した平成24年度の体罰（文部科学省への報告対象）

区分	件数	学校数	体罰を行った教職員数	体罰を受けた児童生徒数
小学校	15	11	11	17
中学校	18	11	15	21
高等学校	6	4	5	12
特別支援学校	0	0	0	0
合計	39件	26校	31人	50人

(1) 体罰の発生状況（26校）

① 小学校……………134校中、11校

② 中学校……………60校中、11校

③ 高等学校……………24校中、4校

④ 特別支援学校…8校中、0校

(2) 体罰による被害の状況

① 小学校……………傷害なし8人、鼻血2人、たんこぶ3人、腫れなど4人

② 中学校……………傷害なし19人、鼻血1人、たんこぶ1人

③ 高等学校……………傷害なし12人

(3) 体罰の内容

① 小学校（15件）

- ア 授業時間中、児童を指導した際、手で叩いた等…………… 10件
- イ 休憩時間中、児童を指導した際、頬をつねった等…………… 3件
- ウ 掃除時間中、児童を指導した際、足で払った等…………… 2件

② 中学校（18件）

- ア 部活動時間中、生徒を指導した際、手で叩いた等…………… 7件
- イ 授業時間中、生徒を指導した際、手で叩いた等…………… 3件
- ウ 放課後、生徒を指導した際、手で叩いた等…………… 3件
- エ 掃除時間中等、生徒を指導した際、手で叩いた等…………… 3件
- オ 休憩時間中、生徒を指導した際、手で叩いた等…………… 2件

③ 高等学校（6件）

- ア 部活動時間中、きまりを守らない生徒を指導した際、手で叩いた等 3件
- イ 休憩時間中、きまりを守らない生徒を指導した際、手で叩いた等 2件
- ウ 授業時間中、生徒を指導した際、手で叩いた…………… 1件

3 調査により新たに把握した平成23年度以前の体罰（県独自に調査したもの）

区 分	件 数	学校数	体罰を行った 教職員数	体罰を受けた 児童生徒数
小 学 校	0	0	0	0
中 学 校	0	0	0	0
高 等 学 校	3	3	3	7
特別支援学校	0	0	0	0
合 計	3件	3校	3人	7人

4 今後の予定

- (1) 文部科学省に平成24年度の体罰の状況を報告（4月30日期限）
- (2) 体罰を行った教職員への処分等について検討

5 体罰の根絶を図るための取組

- (1) 今回の調査結果を踏まえて、各市町村教育委員会及び県立学校に対し、改めて体罰根絶の徹底を求める通知を発出するとともに、校長会等において教職員に対する指導の徹底を求める
- (2) 各学校において、コンプライアンス研修等の機会を活用し、体罰の根絶にかかる研修を行う
- (3) 運動部活動の指導者を対象とした研修会を開催するとともに、今年度策定予定の「運動部活動ガイドライン」に体罰根絶に関する内容を盛り込む

【参考】

既に把握していたものを含む平成24年度の体罰

区 分	件 数	学校数	体罰を行った 教職員数	体罰を受けた 児童生徒数
小 学 校	17(2)	13(2)	13(2)	19(2)
中 学 校	19(1)	12(1)	16(1)	22(1)
高 等 学 校	11(5)	9(5)	10(5)	24(12)
特別支援学校	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合 計	47(8)件	34(8)校	39(8)人	65(15)人

※()内は、今回の調査実施以前に把握し、文部科学省に報告済みのもの。

【鳥取県】

今回新たに実施した調査の結果把握した体罰の状況

学校種別一覧(表)

区 分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合 計	
①発生学校数		11 (42.3%)	11 (42.3%)	4 (15.4%)	0 (0.0%)	26	
②発生件数		15 (38.5%)	18 (46.2%)	6 (15.4%)	0 (0.0%)	39	
③被害を受けた児童生徒人数		17 (34.0%)	21 (42.0%)	12 (24.0%)	0 (0.0%)	50	
④体罰時の状況	(1)場面	授業中	8 (53.3%)	2 (11.1%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	11 (28.2%)
		放課後	0 (0.0%)	3 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	4 (10.3%)
		休み時間	3 (20.0%)	2 (11.1%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	6 (15.4%)
		部活動	0 (0.0%)	7 (38.9%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	10 (25.6%)
		学校行事	2 (13.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)
		ホームルーム	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)
	(2)場所	その他	2 (13.3%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (12.8%)
		教室	13 (86.7%)	4 (22.2%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	19 (48.7%)
		職員室	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		運動場・体育館	2 (13.3%)	6 (33.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	9 (23.1%)
		生徒指導室	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)
		廊下・階段	0 (0.0%)	5 (27.8%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	6 (15.4%)
その他		0 (0.0%)	2 (11.1%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	4 (10.3%)	
⑤体罰の態様	素手で殴る	9 (60.0%)	9 (50.0%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	23 (59.0%)	
	棒などで殴る	1 (6.7%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	
	蹴る	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	
	投げる・転倒させる	1 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	
	殴る及び蹴る等	0 (0.0%)	2 (11.1%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	3 (7.7%)	
	その他	4 (26.7%)	5 (27.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (23.1%)	
⑥被害の状況	骨折・捻挫など	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	鼓膜損傷	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	外傷	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	打撲	2 (13.3%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.7%)	
	鼻血	2 (13.3%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.7%)	
	髪を切られる	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	その他	4 (26.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (10.3%)	
	被害なし	7 (46.7%)	16 (88.9%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)	29 (74.4%)	
⑦体罰事案の把握のきっかけ(複数回答可)	児童生徒の訴え	3 (20.0%)	9 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	14 (35.9%)	
	保護者の訴え	5 (33.3%)	12 (66.7%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	20 (51.3%)	
	教員の申告	5 (33.3%)	9 (50.0%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	19 (48.7%)	
	第三者の通報	8 (53.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (20.5%)	
	その他	1 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	
⑧体罰事案の把握の手法(複数回答可)	当事者教員	15 (100.0%)	18 (100.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)	39 (100.0%)	
	その他教員	7 (46.7%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (25.6%)	
	被害児童生徒	15 (100.0%)	18 (100.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)	39 (100.0%)	
	その他児童生徒	8 (53.3%)	1 (5.6%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	11 (28.2%)	
	保護者	14 (93.3%)	14 (77.8%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	31 (79.5%)	
	その他	6 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (15.4%)	

注1 ①～③の項目における()は、合計に対する割合

注2 ④～⑧の項目における()は、区分ごとの発生件数に対する割合

注3 ⑦、⑧の項目における割合は複数回答可のため、合計が100%を超える

平成24年4月～平成25年1月間における体罰の状況

学校種別一覧(表)

区 分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合 計	
①発生学校数		2 (25.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	8	
②発生件数		2 (25.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	8	
③被害を受けた児童生徒人数		2 (13.3%)	1 (6.7%)	12 (80.0%)	0 (0.0%)	15	
④体罰時の状況	(1)場面	授業中	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		放課後	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)
		休み時間	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)
		部活動	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)
		学校行事	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		ホームルーム	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		その他	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)
	(2)場所	教室	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		職員室	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)
		運動場・体育館	1 (50.0%)	1 (100.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	6 (75.0%)
		生徒指導室	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		廊下・階段	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)		
⑤体罰の態様	素手で殴る	1 (50.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	6 (75.0%)	
	棒などで殴る	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	蹴る	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	
	投げる・転倒させる	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	
	殴る及び蹴る等	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
⑥被害の状況	骨折・捻挫など	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	
	鼓膜損傷	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	
	外傷	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	打撲	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	
	鼻血	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	髪を切られる	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	傷害なし	2 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	
⑦体罰事案の把握のきっかけ(複数回答可)	児童生徒の訴え	1 (50.0%)	1 (100.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	
	保護者の訴え	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	
	教員の申告	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	
	第三者の通報	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	
⑧体罰事案の把握の手法(複数回答可)	当事者教員	2 (100.0%)	1 (100.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	
	その他教員	0 (0.0%)	1 (100.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	6 (75.0%)	
	被害児童生徒	2 (100.0%)	1 (100.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	
	その他児童生徒	1 (50.0%)	1 (100.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	
	保護者	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

注1 ①～③の項目における()は、合計に対する割合

注2 ④～⑥の項目における()は、区分ごとの発生件数に対する割合

注3 ⑦、⑧の項目における割合は複数回答可のため、合計が100%を超える

【鳥取県】

平成24年度における体罰の状況

学校種別一覧(表)

区 分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合 計	
①発生学校数		13 (38.2%)	12 (35.3%)	9 (26.5%)	0 (0.0%)	34	
②発生件数		17 (36.2%)	19 (40.4%)	11 (23.4%)	0 (0.0%)	47	
③被害を受けた児童生徒人数		19 (29.2%)	22 (33.8%)	24 (36.9%)	0 (0.0%)	65	
④体罰時 の状況	(1)場面	授業中	8 (47.1%)	2 (10.5%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	11 (23.4%)
		放課後	0 (0.0%)	3 (15.8%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)	7 (14.9%)
		休み時間	4 (23.5%)	2 (10.5%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	7 (14.9%)
		部活動	0 (0.0%)	8 (42.1%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	11 (23.4%)
		学校行事	2 (11.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)
		ホームルーム	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)
		その他	3 (17.6%)	3 (15.8%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	8 (17.0%)
	(2)場所	教室	13 (76.5%)	4 (21.1%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	19 (40.4%)
		職員室	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)
		運動場・体育館	3 (17.6%)	7 (36.8%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	15 (31.9%)
		生徒指導室	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)
		廊下・階段	0 (0.0%)	5 (26.3%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	6 (12.8%)
		その他	1 (5.9%)	2 (10.5%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	5 (10.6%)
	⑤体罰の 態様	素手で殴る	10 (58.8%)	9 (47.4%)	10 (90.9%)	0 (0.0%)	29 (61.7%)
棒などで殴る		1 (5.9%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	
蹴る		1 (5.9%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	
投げる・転倒させる		1 (5.9%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	
殴る及び蹴る等		0 (0.0%)	2 (10.5%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	3 (6.4%)	
その他		4 (23.5%)	5 (26.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (19.1%)	
被害の状況		骨折・捻挫など	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)
鼓膜損傷	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)		
外傷	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
打撲	2 (11.8%)	1 (5.3%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	4 (8.5%)		
鼻血	2 (11.8%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (6.4%)		
髪を切られる	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
その他	4 (23.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (8.5%)		
傷害なし	9 (52.9%)	16 (84.2%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)	33 (70.2%)		
⑦体罰事案の把握 のきっかけ (複数回答可)	児童生徒の訴え	4 (23.5%)	10 (52.6%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	17 (36.2%)	
	保護者の訴え	6 (35.3%)	12 (63.2%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)	22 (46.8%)	
	教員の申告	5 (29.4%)	10 (52.6%)	6 (54.5%)	0 (0.0%)	21 (44.7%)	
	第三者の通報	8 (47.1%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	10 (21.3%)	
	その他	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	
	⑧体罰事案の把握 の手法 (複数回答可)	当事者教員	17 (100.0%)	19 (100.0%)	11 (100.0%)	0 (0.0%)	47 (100.0%)
その他教員	7 (41.2%)	4 (21.1%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	16 (34.0%)		
被害児童生徒	17 (100.0%)	19 (100.0%)	11 (100.0%)	0 (0.0%)	47 (100.0%)		
その他児童生徒	9 (52.9%)	2 (10.5%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)	15 (31.9%)		
保護者	14 (82.4%)	14 (73.7%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	31 (66.0%)		
その他	6 (35.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (12.8%)		

注1 ①～③の項目における()は、合計に対する割合

注2 ④～⑥の項目における()は、区分ごとの発生件数に対する割合

注3 ⑦、⑧の項目における割合は複数回答可のため、合計が100%を超える

今後の県立高等学校の在り方に係る県教育審議会への諮問について

平成25年5月21日
高等学校課

県教育委員会は、今後の県立高等学校の在り方について、鳥取県教育審議会条例第3条第1項の規定により県教育審議会に対して諮問しましたので、その内容等について、次のとおり報告します。

1 日時：平成25年4月23日（火） 午後4時

2 場所：鳥取県庁第二庁舎 第33会議室

3 出席者：鳥取県教育委員会教育長 中島 諒人
鳥取県教育審議会会長 矢部 敏昭



4 諮問の内容：

次の諮問の内容については、平成25年4月23日（火）に開催された定例教育委員会で決定したものです。

次代を担う生徒を育成するための魅力と活力にあふれる本県高等学校教育の在り方について

- 1 グローバル化や情報化、少子高齢化がより一層進展するなど社会が大きく変化の中で、生きる力を育み、時代の要請に応えていく高等学校教育の在り方
- 2 県人口や生徒数の減少に対応した高等学校の在り方

諮問理由

新しい知識や技術などの重要性が、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に増大し、グローバル化や情報化、少子高齢化がより一層進展するなど社会が大きく変化しています。

このような中にあるのは、先を見通すことは難しいことから、予測できない局面を自らの力で切り拓いていくことが必要であり、そのためにも生涯を通じて主体的に学び、考え続ける力などがより重要になってきています。

このようなことから、本県の学校教育においても、生徒が学習などで身につけた知識をもとに、コミュニケーションを通じて協働して新たな知を創出したり、新たな課題を見出して未知なる解に向かうような主体的な学びへと転換していくことが求められています。

あわせて、他人を思いやる心などの豊かな人間性やたくましく生きるための健康や体力などをバランスよく育成することも求められています。

県教育委員会では、生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、社会的に自立していく基盤となる生きる力を育てていくことを視野に入れて、次代を担う人材を育成していくことが必要であると考えます。

また、今後も県人口の大幅な減少と中学校卒業生数の減少が見込まれる中において、高い教育力を発揮できるようなシステムの構築と、魅力と活力にあふれる高等学校教育の在り方について、より柔軟な発想で、長期的な展望に立って検討していくことが必要であると考えます。

については、今後の本県高等学校教育のより一層の充実を図るため、標記の事項について諮問します。

5 今後の予定

H25. 6. 4 鳥取県教育審議会（第13回）で諮問内容について説明するとともに、同日開される学校等教育分科会に審議を付託

H25. 6～H26（上半期） 学校等教育分科会を中心に審議し、答申を受理

平成24年度子ども読書に関するアンケート結果について

平成25年5月21日
家庭・地域教育課

1 調査目的

平成21年3月に策定した「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第2次計画)」の改訂にあたり、本県の子どもをとりまく読書環境等の実態を把握し、ビジョン改訂における参考資料とする。

2 調査対象箇所及び回答数

対象	小学校 3年生	小学校 6年生	中学校 3年生	高等学校 2年生	大学生	保育所・幼稚園 年長児保護者	合計
対象校数	22	22	17	8	3	23	95
有効回答数	624	665	543	296	314	568	3,010

3 調査期間 平成25年1月15日～1月31日

4 調査結果の概要(※詳細はHPに掲載 <http://www.pref.tottori.lg.jp/dokusho>)

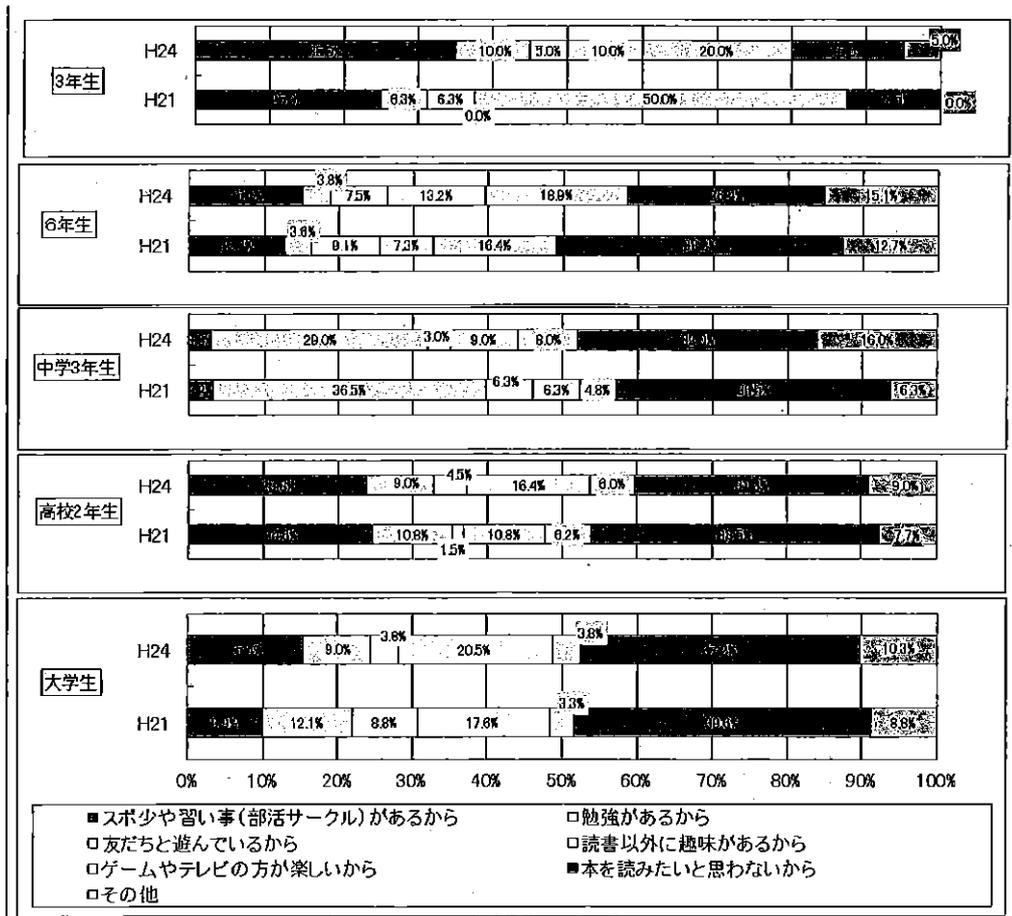
(1)児童・生徒・大学生

①読書に関する意識について

・読書が「好き」「どちらかという好き」という子どもは、小3で89.7%、小6で78.4%、中3で83.3%、高2で80.4%、大学生で78%。小3と大学生は前回調査(平成21年度)より増加している。

②学校や家庭での読書について

- ・1ヶ月に読んだ冊数は、小3では約7割が6冊以上読んでおり、読書に親しんでいることがうかがえる。
- ・「0冊」の割合は、小3で3.2%と少なく、小6で8.5%、高2で21.3%、大学生で24.4%と前回より減少したが、中3では17%と3.2ポイント増加した。
- ・読書をしない理由として、小3では「スポ少や習い事があるから」、その他では「本を読みたいと思わない」が最も多く、小3と小6では「ゲームやテレビの方が楽しいから」が2番目に多くなっている。



③市町村の図書館の利用について

・どの学年も、1ヶ月の利用「0回」が最も多く、小6以降は半数以上が利用していない。行かない理由としては「学校図書館で本を借りられる」「特に借りる必要がない」が多くなっている。

④学校、大学図書館の利用について

・1ヶ月の利用「0回」は、小3で2.3%、小6で6.1%と、児童にとって魅力ある図書館経営が広がっていることがうかがえるが、中3では48.5%、高2では47.5%、大学生では26.9%といずれも前回に比べ増加。図書館離れの傾向が見える。

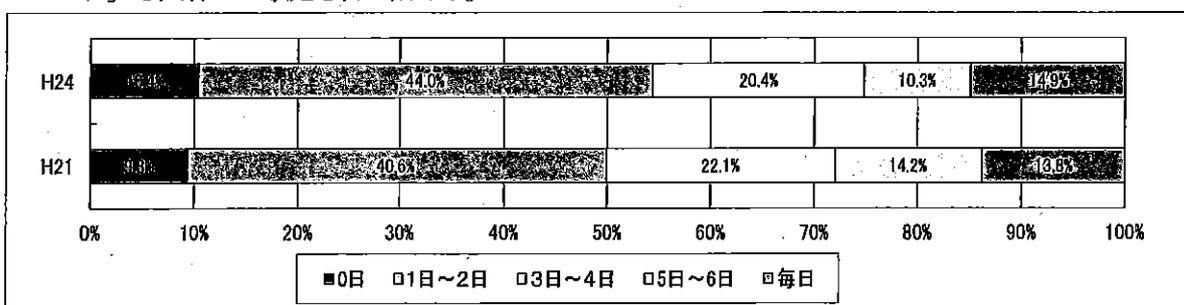
⑤電子書籍の利用について

・読んだことがある割合は、小3と小6で約25%、中3で約35%、高2、大学生で約45%となっており、学年が上がるにつれて利用経験者が増加している。

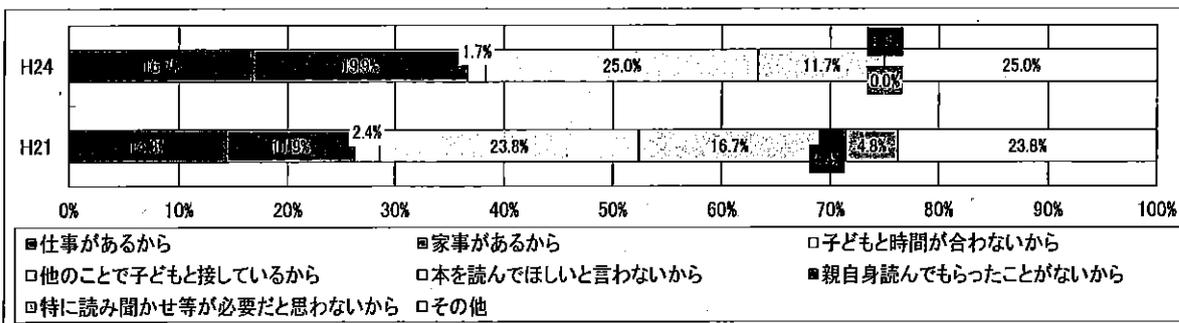
(2) 保育所・幼稚園年長児保護者

① 保育所・幼稚園や家庭での読書について

・1週間に1日以上読み聞かせ等をしている家庭は、89.6%であり、前回よりわずかに減少した。また、「0日」と回答した家庭も約1割ある。



・家庭で読み聞かせをしない理由として、「仕事があるから」「家事があるから」を合わせて36.6%と前回より10.4%ポイントしており、保護者の多忙感がうかがえる。



② 市町村図書館の利用について

・1ヶ月の利用「0回」が53.9%と前回より5.8ポイント増加している。行かない理由としては、「幼稚園・保育所で本を借りられるから」が64.5%と最も多く、保育所、幼稚園の本の整備が重要と考えられる。

③ 電子書籍の利用について

・保護者自身で読んだことがある割合は、13.8%。電子書籍と子ども達の読書の関わりについては、「小さい時は紙の本をすすめるが、大きくなったら本人にまかせたい」が64.5%と最も多い。今後、学校でのメディア教育の推進が大きく関連してくると予想される。

5 今後の活用

- (1) 子どもへの読み聞かせや保護者への選書アドバイス等を行う鳥取県子ども読書アドバイザーの活動の参考とする。
- (2) 平成21年度に策定した子どもの読書活動の推進ビジョン第2次計画の改定(平成26年3月)に向けての検討材料とする。
- (3) 選書など、子どもの読書活動における保護者向け啓発活動の参考とする。

平成24年度小・中・高校生のケータイ・インターネット等の利用に係る実態調査結果について

平成25年5月21日
家庭・地域教育課

1 目的

スマートフォンなど新しい情報機器の普及やコミュニティサイトの急速な利用拡大等により、子どもたちの情報モラルやマナー、基本的生活習慣の乱れが憂慮されていることから、ケータイ・インターネットに係る子どもたちの実態調査を行い、その結果を児童生徒、保護者及び学校等への啓発につなげていく。

2 実施方法

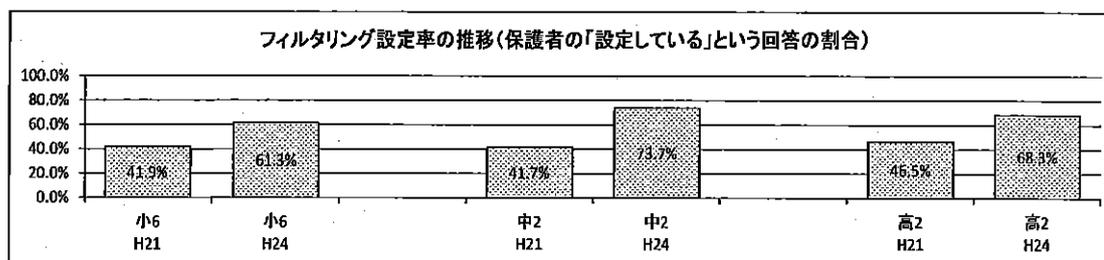
- (1) 実施時期：平成24年10月22日～11月9日
(2) 対象：県内小学校6年、中学校2年、高等学校2年生及び保護者

	学校数	児童・生徒		保護者	
		回収数	抽出数	回収数	抽出数
小学校	22	835	504	767	504
中学校	19	947	500	774	500
高等学校	14	465	465	370	370

※抽出数・・・
小・中学校の調査については、全体の回収数から、市町村毎の児童・生徒の人数比に応じてデータ抽出して分析

3 概要（※詳細についてはHPに掲載 <http://www.pref.tottori.lg.jp/153337.htm>）

- ①ケータイ（スマホ）の所持率は前回調査（平成21年度）に比べ上がっている。
（小6：10.5% → 16.9%、中2：17.7% → 26.6%、高2：95.1% → 96.3%）
- ②所持しているのは、スマートフォンが約3割を占める。今後ますます普及していくことが考えられることから、スマートフォンの特徴を啓発内容に盛り込む必要がある。
- ③ケータイ（スマホ）のフィルタリングの設定率が大きく上昇した。

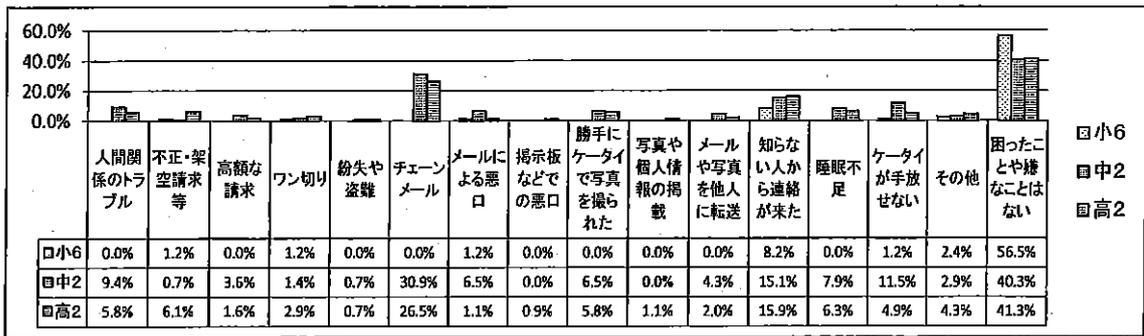


<フィルタリングの設定について>

- ・保護者のフィルタリングを「設定している」という回答は、小6で61.3%、中2で73.7%、高2で68.1%であり、前回調査よりも大きく上昇している。
- ・フィルタリングが不要な「ネット接続のできない機種」を与えている場合と合わせると、小6で88.7%、中2で84.8%、高2で69.7%であり、小6・中2では8割以上、高2で約7割の保護者が子どもたちを有害情報から守る措置をとっている。
- ・フィルタリングは子どもを守る有効な手段の一つであるが万能ではないので、インターネットの正しい使い方について今後も啓発していく必要がある。

- ④ケータイ等の利用に多くの時間を費やしている生徒が多く、特に中学生の増加が顕著である。
（「1日にメールを30通以上送受信する」中2：15.0% → 28.0%、「1日に2時間以上サイト利用をする」中2：4.7% → 15.1%）
- ⑤家庭でのルールづくりについても十分とはいえず、継続的な保護者啓発が必要である。
（「特にルールはない」小6：29.8%、中2：41.7%、高2：54.9%）
- ⑥インターネットへの接続が可能なゲーム機を児童生徒の約4割が所持し、小6で約5割、中2で約6割がゲーム機でサイトを利用していることから、ゲーム機や音楽プレーヤーを含めた様々な端末からのインターネット利用を視野に入れた啓発が必要である。

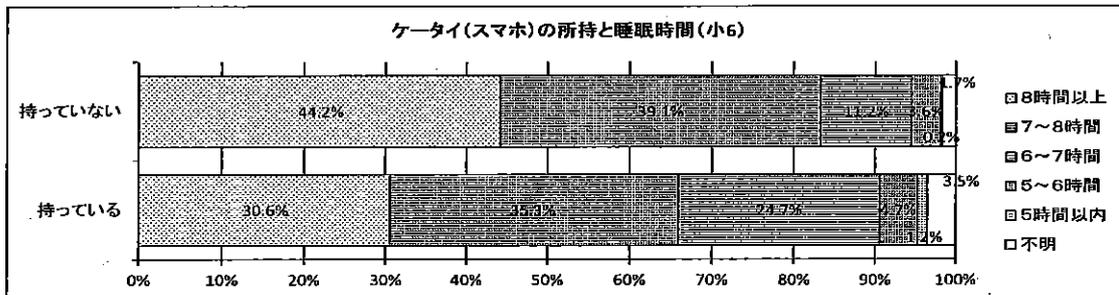
⑦中2、高2の6割、小6の4割が、ケータイ（スマホ）で何らかのトラブルを経験している。



<ケータイ（スマホ）利用によるトラブル経験>

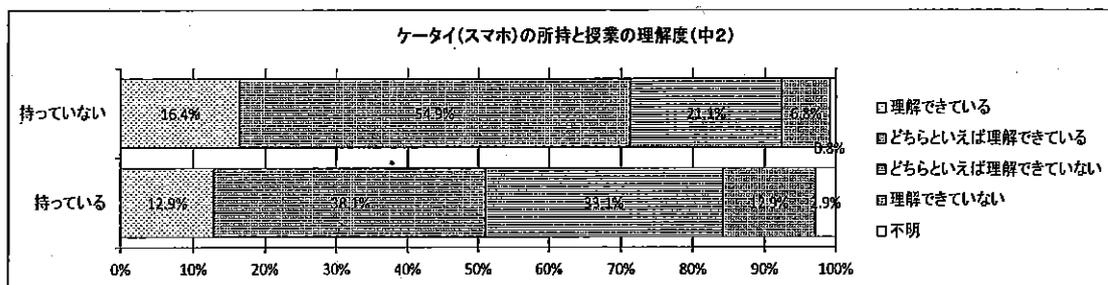
- ・「チェーンメール」が最も多く、「知らない人から連絡が来た」「ケータイ（スマホ）が手放せない」「人間関係のトラブル」と続く。
- ・「困ったことや嫌なことはない」の回答を除くと、4割から6割の児童生徒が、何らかのトラブルを体験していると考えられる。

⑧ケータイ（スマホ）の所持と子どもたちの生活習慣や学習習慣との関係として、特に「睡眠時間」や「授業の理解」に大きな関係が見られる。



<睡眠時間との関係>

- ・小6において、「7時間以上」の睡眠をとっている児童は、ケータイ（スマホ）を所持していない児童で83.3%であるのに対して、所持している児童では65.9%であり、睡眠時間に大きな差が見られる。



<授業の理解との関係>

- ・中2において、授業が「理解できている」「どちらかという理解できている」と回答した生徒は、ケータイ（スマホ）を所持していない生徒で71.3%であるのに対して、所持している生徒では51.0%であり、授業の理解度に大きな差が見られる。

4 調査結果の今後の活用

- ・今後の保護者や地域住民向けのケータイ・インターネット教育啓発活動に生かす。
- ・県内の小・中・高・特別支援学校や警察など関係機関にアンケート結果を周知し、児童生徒への指導等に役立てていく。

平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

平成25年5月21日

スポーツ健康教育課

1 調査対象

文部科学省が抽出した学校における、小学校第5学年、中学校第2学年の全児童を対象（昨年度、小学校72校・中学校33校）

2 調査項目

(1) 児童生徒に対する調査

<実技に関する調査>

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン
⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ソフトボール投げ（小学校）、ハンドボール投げ（中学校）

<質問紙調査>

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する調査

(2) 学校に対する質問紙調査

子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

3 調査結果の概要

<別紙1 関連>

- ・テストの合計点は、小中学校とも全国平均を上回っている。
- ・小中学校とも、総合評価Aの出現率が全国より高く、D、Eの出現率が少ない。
（*総合評価は、合計点を基に、年齢に応じた基準に対してA～Eの五段階で示される。）
- ・小学生8種目×2（男女）、中学生9種目×2（男女）の計34種目のうち、22種目が全国平均よりも優れており、10種目が劣っている。2種目が全国平均と同じである。
- ・上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅跳びは全項目で全国平均を上回っている。
- ・長座体前屈においては、全ての学年で全国平均より劣っている。

<別紙2 関連>

- ・平日の小学5年生は、男女とも全国と比べて放課後はよく運動するが、その他の時間の運動は少ない傾向にある。
- ・小中学校とも、全国と比べて土日の運動時間が短い。
- ・運動をあまりしない児童が運動やスポーツをしない理由
（男子）「してみたいと思わない」「運動が苦手」が全国と比べて多い。中学生は、「一緒にする友だちがいない」という理由も多い。
（女子）小学生は「入りたいクラブがない」が全国と比べて多い。中学生は「文化部に所属」が多い。

<別紙3 関連>

- ・中学校では、授業以外の場面で体力向上の取組がなかなか進みにくい現状がある。

＜実技に関する集計結果＞

区分	男子						女子					
	小学校5年			中学校2年			小学校5年			中学校2年		
	全国	鳥取県	有意差	全国	鳥取県	有意差	全国	鳥取県	有意差	全国	鳥取県	有意差
1 握力 (kg)	平均値	16.70	16.67		29.65	29.63		16.23	16.08		23.98	23.77
	標準偏差	3.74	3.54	▲	7.12	6.94		3.75	3.61	▲	4.50	4.47
2 上体起こし (回)	平均値	19.44	19.56		50.0	50.0		50.0	49.6		50.0	49.5
	標準偏差	3.80	3.27	○	27.58	27.84		17.92	18.30	○	22.84	23.42
3 長座体前屈 (cm)	平均値	50.0	50.2		50.0	50.4		5.16	4.66		5.64	5.62
	標準偏差	32.60	31.42	▲	43.27	42.23		36.68	35.17	▲	45.00	44.43
4 反復機跳び (点)	平均値	50.0	48.5		50.0	49.0		8.06	8.93		9.43	9.17
	標準偏差	41.58	42.97	○	51.55	52.61		39.23	41.38	○	45.46	46.59
5 持久走 (秒)	平均値	50.0	51.8		50.0	51.4		7.02	5.69		6.26	6.15
	標準偏差	391.04	393.50	▲	60.41	61.27		50.0	53.1	○	292.23	281.53
6 20mシャトルラン (回)	平均値	51.58	58.35		50.0	49.6		44.75	38.08		50.0	52.4
	標準偏差	20.92	20.84	○	86.24	90.74		39.89	48.40	○	57.87	62.69
7 50m走 (秒)	平均値	50.0	53.2		50.0	51.9		16.39	16.81		20.41	19.82
	標準偏差	9.37	9.37	○	8.01	7.86		50.0	55.2	○	50.0	52.4
8 立ち幅飛び (cm)	平均値	50.0	50.0		50.0	51.9		0.80	0.76		0.78	0.82
	標準偏差	152.31	155.14	○	195.37	198.11		50.0	50.3	○	50.0	51.4
9 ボール投げ (m)	平均値	23.80	24.54		25.74	26.06		14.484	14.732		16.713	16.841
	標準偏差	8.19	7.94	○	50.0	51.1		19.62	18.21	○	23.44	24.45
体力合計点 (点)	平均値	54.07	55.08		42.32	43.66		54.85	56.33		48.72	50.16
	標準偏差	8.86	8.40	○	9.83	9.85		8.48	7.65	○	10.77	10.60
総合評価 (%)	A	11.8	12.4		7.6	9.5		13.1	14.8		25.6	31.3
	B	25.2	28.1		26.9	29.9		25.8	29.7		33.0	32.2
	C	34.1	36.0		38.3	37.3		34.9	37.3		27.6	25.6
	D	20.5	17.3		21.4	19.0		20.2	15.1		11.7	9.1
	E	8.4	6.2		5.8	4.3		6.0	3.3		2.1	1.7

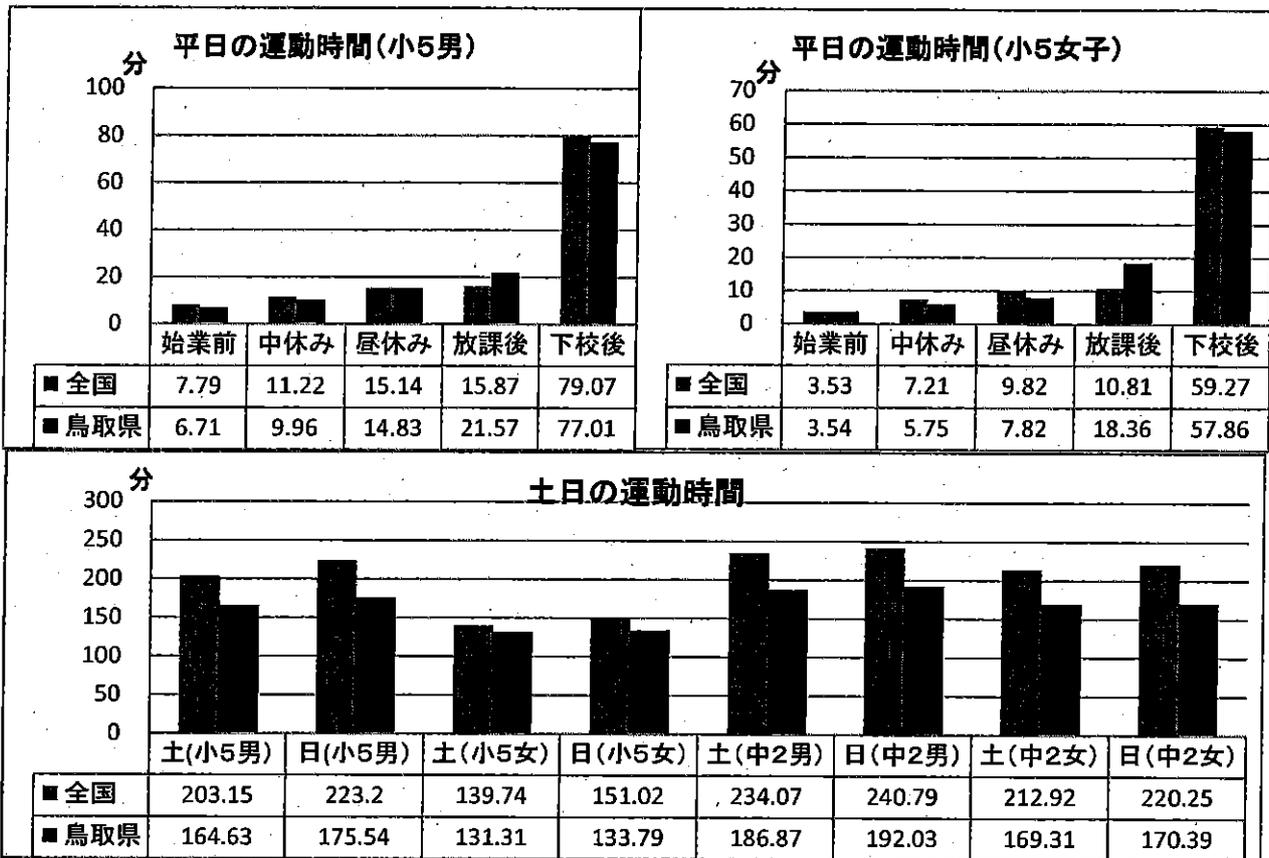
○…全国値を有意に上回る。(全国より優れている。)

▲…全国値を有意に下回る。(全国より劣っている。)

◇体力合計点においては、小学校5年、中学校2年の男女ともに全国平均よりも優れている。
 ・学年および種目別の全34種目のうち、22項目が全国平均よりも優れており、10項目で劣っている。残り2項目は全国平均とほぼ同様である。
 ・上体起こし、反復機跳び、20mシャトルラン、立ち幅飛び、小学校5年および中学校2年の男女ともに全国平均を上回っている。
 ・基礎体力面においては、小学校5年および中学校2年の男女すべてで全国平均よりも劣っており、柔軟性が課題であると考えられる。
 ◇総合評価面(A～E)においては、小学校5年の男女のA、B段階の割合が全国平均よりも高い。また、E段階においては小学校5年および中学校2年の男女ともに全国平均を下回っている。

(1) 平日・土日の運動時間

別紙2



(2) 月に3日以内しか運動しない児童・生徒が運動やスポーツをしない理由

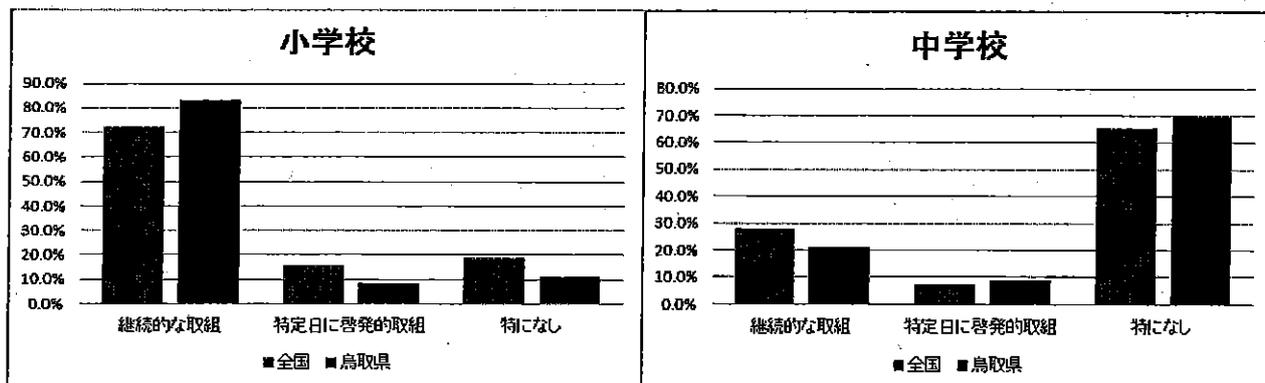
小学校 5年男子	標本数	1. 入り たいク ラブ等 がない	2. 他に してい るもの がある	3. 一 緒にす る友達 がない	4. 運 動が苦 手	5. して みたい スポー ツがない	6. 疲 れる	7. 時 間がない	8. 勉 強等を するから	9. 場 所や機 会がない	10. 情 報がない	11. して みたい と思 わない	12. そ の他
全国	11084	13.4%	24.7%	13.1%	31.4%	25.1%	30.5%	21.7%	10.0%	13.4%	8.0%	29.9%	12.3%
鳥取県	141	13.5%	17.7%	10.6%	36.2%	27.7%	29.1%	14.9%	6.4%	11.3%	7.1%	36.2%	14.2%

小学校 5年女子	標本数	1. 入り たいク ラブ等 がない	2. 他に してい るもの がある	3. 一 緒にす る友達 がない	4. 運 動が苦 手	5. して みたい スポー ツがない	6. 疲 れる	7. 時 間がない	8. 勉 強等を するから	9. 場 所や機 会がない	10. 情 報がない	11. して みたい と思 わない	12. そ の他
全国	21279	16.5%	41.7%	15.2%	39.6%	29.4%	27.0%	30.9%	9.7%	14.3%	8.1%	30.7%	10.5%
鳥取県	257	19.5%	32.3%	13.6%	31.5%	24.9%	25.7%	26.8%	10.9%	11.3%	7.0%	26.1%	18.3%

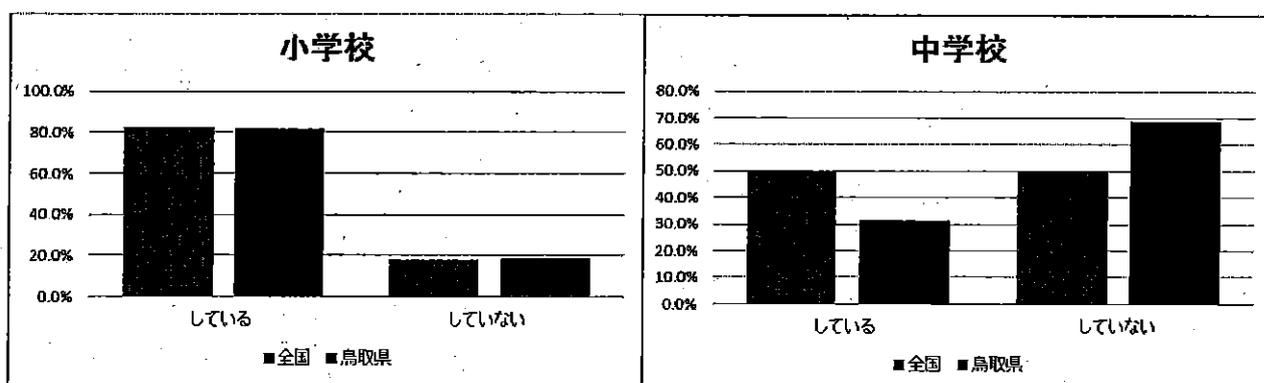
中学校 2年男子	標本数	1. 入り たい運 動部が ない	2. 文 化部に 所属	3. 入り たいス ポーツ クラブ がない	4. 一 緒にす る友達 がない	5. 運 動が苦 手	6. して みたい スポー ツがない	7. 疲 れる	8. 時 間がない	9. 勉 強等を するから	10. 場 所や機 会がない	11. 情 報がない	12. して みたい と思 わない	13. そ の他
全国	8719	25.7%	36.6%	13.7%	9.1%	35.1%	23.2%	39.9%	19.2%	6.8%	14.5%	4.8%	34.5%	6.6%
鳥取県	73	20.5%	42.5%	15.1%	16.4%	39.7%	24.7%	47.9%	21.9%	4.1%	13.7%	6.8%	38.4%	4.1%

中学校 2年女子	標本数	1. 入り たい運 動部が ない	2. 文 化部に 所属	3. 入り たいス ポーツ クラブ がない	4. 一 緒にす る友達 がない	5. 運 動が苦 手	6. して みたい スポー ツがない	7. 疲 れる	8. 時 間がない	9. 勉 強等を するから	10. 場 所や機 会がない	11. 情 報がない	12. して みたい と思 わない	13. そ の他
全国	27717	22.2%	70.8%	12.7%	7.5%	44.7%	22.6%	37.5%	33.6%	6.1%	21.7%	5.3%	33.4%	5.2%
鳥取県	290	21.0%	84.1%	10.3%	6.6%	45.5%	22.8%	36.2%	31.4%	5.9%	17.9%	3.4%	33.4%	6.6%

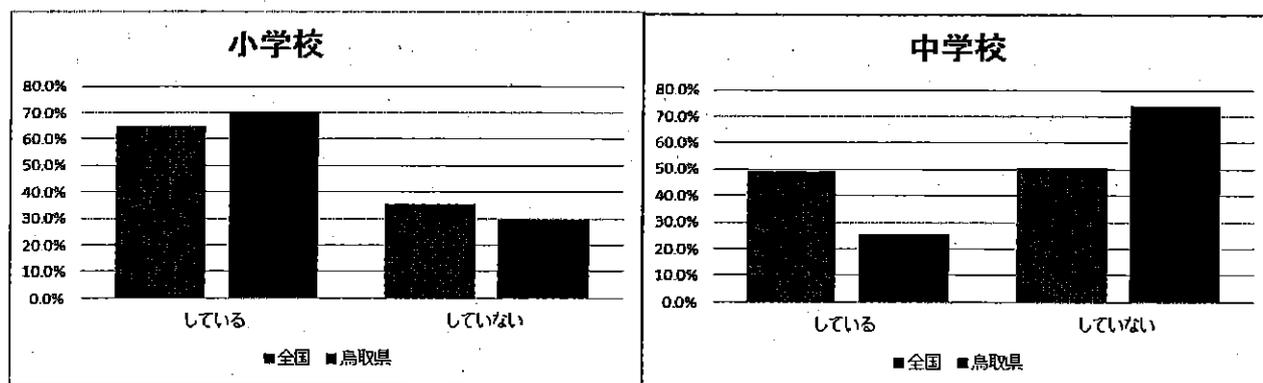
(1) 体育・保健体育の授業以外での体力向上の取組



(2) 運動習慣確立のための、授業以外の手立て



(3) 運動時間が少ない児童に対する取組



平成24年度体力・運動能力調査（新体力テスト）結果について

平成25年5月21日
スポーツ健康教育課

1 調査対象及び人数

鳥取県内の全ての公立小学校・公立中学校・県立高等学校（全日制）の児童生徒数の約10%にあたる人数を抽出した。

※抽出数：7,294名（県内公立学校の児童生徒数 59,838名）

2 調査項目

〈児童生徒の属性に関する項目〉

- ①年齢 ②性別 ③都市階級区分
- ④運動部やスポーツクラブへの所属状況 ⑤運動・スポーツ実施状況
- ⑥1日の運動・スポーツの実施時間 ⑦朝食の有無 ⑧1日の睡眠時間
- ⑨1日のテレビ（テレビゲームを含む）の視聴時間
- ⑩1日のパソコン・携帯電話の利用時間

〈テスト項目〉

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横跳び
- ⑤20mシャトルラン ⑥50m走 ⑦立ち幅跳び
- ⑧ソフトボール投げ（小学校）、ハンドボール投げ（中学校及び高等学校）

調査項目	体力評価	基礎運動能力評価	健康評価
握力	筋力	—	筋力
上体起こし	筋力・筋持久力	—	筋持久力
長座体前屈	柔軟性	—	柔軟性
反復横跳び	敏しょう性	—	
20mシャトルラン	全身持久力	—	心肺持久力
50m走	スピード	走る	—
立ち幅跳び	筋パワー	跳ぶ	—
ボール投げ	巧ち性・筋パワー	投げる	—

3 調査期間

平成24年 5月～7月 調査
9月～12月 集計・分析
1月～2月 検討委員会（子どもの体力向上支援委員会）

4 調査結果の概要

〈別紙1 関連〉

- ・ テストの合計点は、小学校1年男子、小学校4年男子、小学校5年男女、中

学校全学年男女で全国平均値（平成23年度）より下回っており、昨年より全国平均値を下回る学年が増えた。

- ・平成24年度の合計点は、男子は12学年中7学年、女子は12学年中8学年が平成23年度の合計点を下回っている。
- ・鳥取県が課題としている「ボール投げ」については、男女とも全国平均値を下回る学年の割合が高い傾向にある。
- ・「50m走」、「長座体前屈」は、全国平均値を下回る学年の割合が高い。
- ・「シャトルラン」「反復横跳び」は、昨年と同様に全国平均値を有意に上回っている。

〈別紙2 関連〉

- ・小、中学生は、昨年より全国平均値を有意に下回る種目が比較的多くあり、小学生男子と中学生男女は上回る種目数より下回る種目数の方が多い。
- ・高校生は多くの種目で全国平均値を有意に上回っている。

〈別紙3 関連〉

- ・年次推移では、男子の「50m」は横ばい、女子の「50m走」と「ボール投げ」に改善の兆しが見られる。
- ・運動習慣と体力テストの関連では、運動時間が多い子は体力が高い傾向にある。

5 子どもの体力向上支援委員会（※）での主な意見

○体力・運動能力を高める上で、全体的に進めていく方法と、種目を絞って（重点化して）行うことにより全体を上げるという方法が考えられる。H25は重点化していく方向としていくことを周知すればよいのではないか。

重点化の考え方として

中・高等学校→二極化の対応、特に低い体力・運動能力が低い子、女子
小学校→穴埋め（できていないところを埋める）

○柔軟性を高めるために

- ・今までの取組に加え、ペアストレッチを取り入れる。

○体力の達成目標を「親世代」ではなく、達成できる可能性のある目標として、次のように見直す必要があるのではないか。

- ・前年度との比較
- ・全国値を全種目で上回る
- ・5年間平均値を上回る

※子どもの体力向上支援委員会とは、新体力テストの考察、調査結果の活用方法の提案、県が行う子どもの体力向上の取組に対する評価や提案等を行う有識者会議

1 平成24年度の合計点（鳥取県）と全国平均値（平成23年度）との比較

		小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年	高1年	高2年	高3年
		(6歳)	(7歳)	(8歳)	(9歳)	(10歳)	(11歳)	(12歳)	(13歳)	(14歳)	(15歳)	(16歳)	(17歳)
男子	全国	30.67	38.13	44.00	50.68	55.55	61.01	35.79	44.57	51.41	50.77	54.41	56.67
	県	30.54	38.37	44.60	50.62	54.70	61.14	34.10	43.40	50.31	52.18	56.75	59.45
女子	全国	30.33	37.69	43.87	50.25	56.08	61.59	45.81	51.39	53.89	49.09	50.69	51.87
	県	30.91	37.78	44.91	50.53	55.90	61.86	45.61	50.05	53.04	51.95	54.05	54.59

2 鳥取県の平成23年度と平成24年度の合計点の比較

(1) 男子

区分	小学校						中学校			高等学校		
	1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)
H23	31.54	39.13	44.49	49.85	56.11	61.00	35.31	43.03	50.50	52.28	57.82	58.83
H24	30.54	38.37	44.60	50.62	54.70	61.14	34.10	43.40	50.31	52.18	56.75	59.45

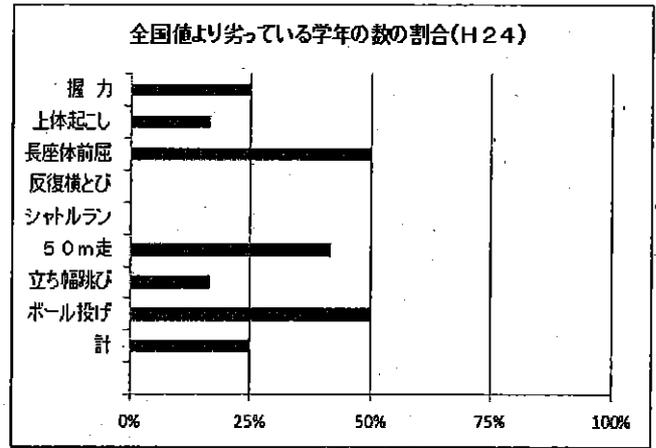
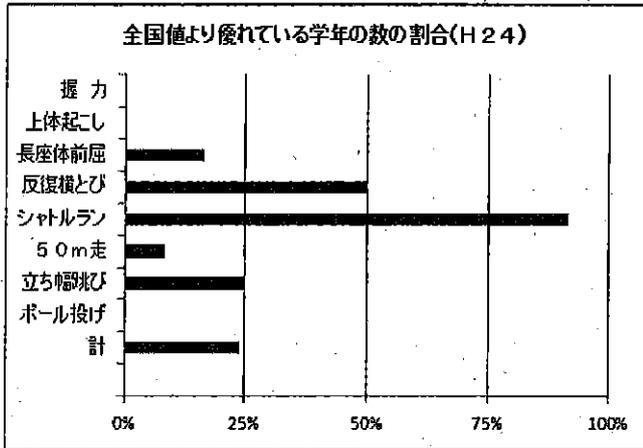
(2) 女子

区分	小学校						中学校			高等学校		
	1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)
H23	31.27	38.76	45.44	50.63	57.04	62.00	46.31	49.49	52.26	51.51	53.38	55.50
H24	30.91	37.78	44.91	50.53	55.90	61.86	45.61	50.05	53.04	51.95	54.05	54.59

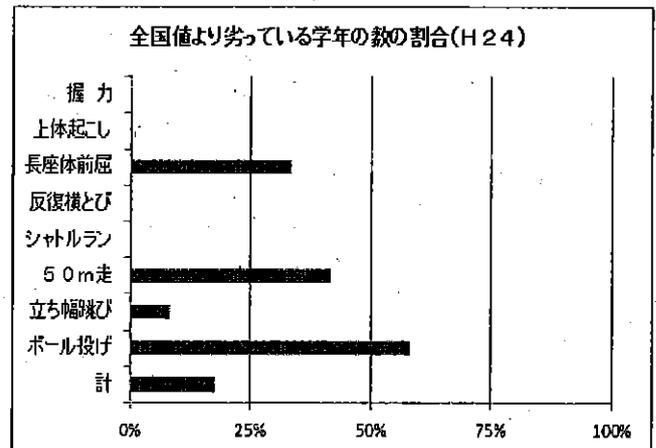
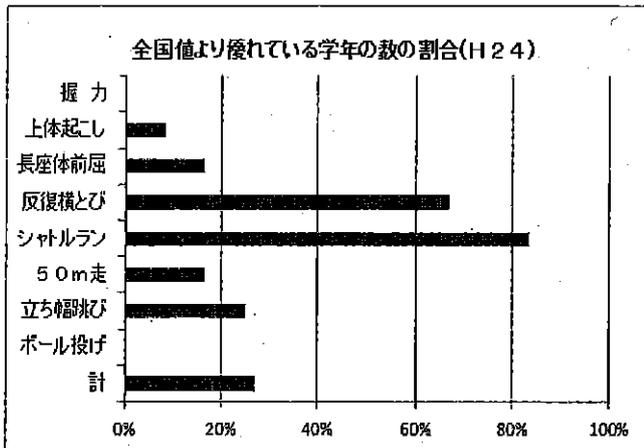
3 Tスコアによる鳥取県(平成24年度)と全国平均値(平成23年度)との比較(種目別に見た場合)

※全国平均値と比較して、各種目ごとの優位さが認められた学年の数(小1～高3、全12学年)の割合

① 男子



② 女子



調査項目のT-スコアによる比較 (全国平均を50として、鳥取県の調査結果と比較して土を付けて見やすくした資料)

(1) 男子

検査項目	小学校					中学校					高等学校		
	1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)	
握力	49.71	49.97	50.14	49.86	49.15	49.89	48.10	48.59	48.12	49.24	50.39	50.93	
上体起こし	-0.53	-0.05	0.27	-0.26	-1.59	-0.22	-3.44	-2.44	-3.38	-1.16	0.57	1.44	
長座体前屈	49.51	49.39	50.07	50.15	50.62	50.13	48.43	49.58	48.74	50.42	50.23	50.46	
反復横とび	-0.90	-1.08	0.12	0.27	1.16	0.24	-2.84	-0.73	-2.27	0.65	0.34	0.71	
シャトルラン	49.85	50.61	49.59	48.10	47.83	48.38	47.81	47.32	48.26	49.96	51.56	52.53	
50m走	-0.27	1.07	-0.75	-3.49	-4.08	-3.12	-3.96	-4.63	-3.12	-0.06	2.27	3.93	
ボール投げ	50.43	51.17	51.00	51.48	51.10	50.68	48.94	51.03	50.85	51.73	52.06	53.36	
立ち幅とび	0.79	2.06	1.84	2.71	2.07	1.30	-1.91	1.79	1.53	2.63	3.01	5.21	
ボール投げ	53.38	52.18	53.13	53.92	51.74	53.68	51.63	50.49	51.39	53.93	53.70	53.70	
立ち幅とび	6.19	3.85	5.79	7.19	3.27	7.09	2.95	0.86	2.49	5.08	5.74	5.74	
立ち幅とび	48.71	49.89	50.23	48.71	47.84	49.12	48.65	48.82	49.17	50.39	51.09	51.60	
立ち幅とび	-2.36	-0.19	0.42	-2.36	-4.07	-1.70	-2.44	-2.04	-1.49	0.60	1.59	2.49	
立ち幅とび	48.80	49.36	49.89	48.80	49.05	49.00	48.96	49.84	50.33	52.35	51.89	52.00	
立ち幅とび	-2.20	-1.13	-0.21	-2.21	-1.79	-1.93	-1.88	-0.27	0.59	3.58	2.76	3.11	
ボール投げ	49.26	48.32	49.50	48.92	48.28	49.55	47.50	47.74	47.75	49.83	50.08	50.86	
ボール投げ	-1.35	-2.97	-0.92	-1.99	-3.23	-0.87	-4.53	-3.90	-4.04	-0.26	0.11	1.34	

(2) 女子

検査項目	小学校					中学校					高等学校		
	1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)	
握力	50.15	48.98	49.20	48.93	49.36	50.15	49.76	49.42	49.23	49.48	50.51	50.54	
上体起こし	0.27	-1.91	-1.48	-1.91	-1.20	0.29	-0.42	-1.00	-1.35	-0.78	0.76	0.83	
長座体前屈	50.23	50.14	50.78	50.10	50.17	50.34	49.61	50.68	49.57	52.45	50.93	50.12	
反復横とび	0.41	0.26	1.43	0.18	0.31	0.63	-0.69	1.18	-0.74	3.66	1.39	0.19	
シャトルラン	51.50	49.72	49.91	48.65	48.21	48.01	49.34	48.40	49.20	51.02	51.22	51.68	
50m走	2.64	-0.52	-0.17	-2.39	-3.36	-3.73	-1.16	-2.76	-1.40	1.52	1.83	2.58	
ボール投げ	51.64	51.64	52.22	52.60	51.53	50.95	51.08	49.00	49.61	52.77	53.13	52.35	
ボール投げ	2.63	3.05	4.08	4.62	2.87	1.78	1.90	-1.73	-0.69	4.12	4.69	3.60	
立ち幅とび	54.88	52.16	55.55	54.70	53.88	53.75	52.56	49.68	51.12	54.14	53.61	52.52	
立ち幅とび	8.60	4.03	10.20	8.36	7.28	7.05	4.50	-0.56	1.95	6.17	5.41	3.86	
立ち幅とび	49.50	50.53	48.75	48.12	47.75	48.70	48.37	49.08	49.52	51.57	52.55	51.02	
立ち幅とび	-0.89	1.00	-2.30	-3.34	-4.22	-2.44	-2.87	-1.59	-0.83	2.34	3.82	1.56	
立ち幅とび	49.72	48.85	50.57	48.90	49.11	50.03	49.38	49.48	49.75	52.83	53.61	52.40	
立ち幅とび	-0.50	-2.13	1.05	-1.95	-1.67	0.05	-1.09	-0.90	-0.43	4.22	5.41	3.68	
ボール投げ	50.09	47.83	49.27	48.84	48.86	49.60	48.10	47.53	48.10	48.62	50.89	49.69	
ボール投げ	0.17	-4.05	-1.34	-2.06	-2.14	-0.74	-3.35	-4.26	-3.32	-2.05	1.33	-0.47	

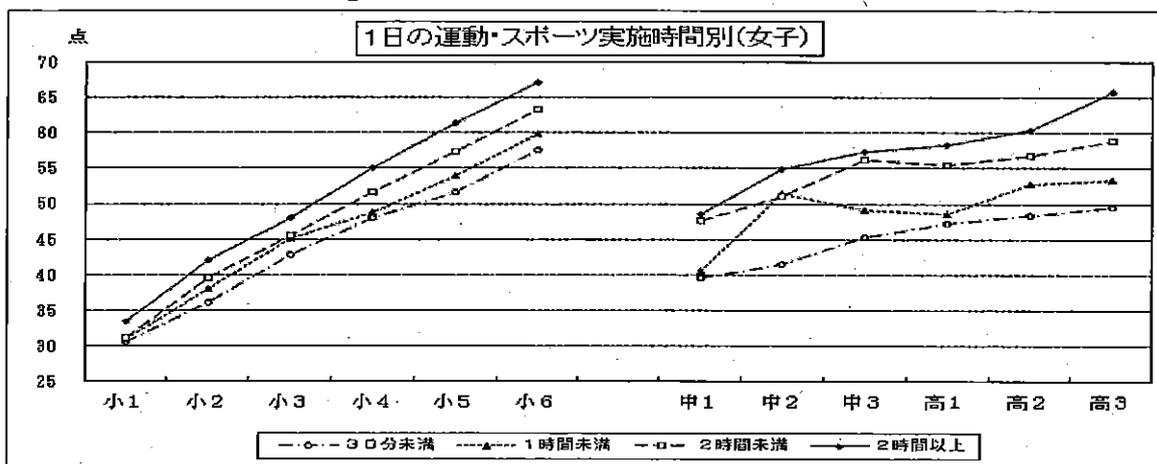
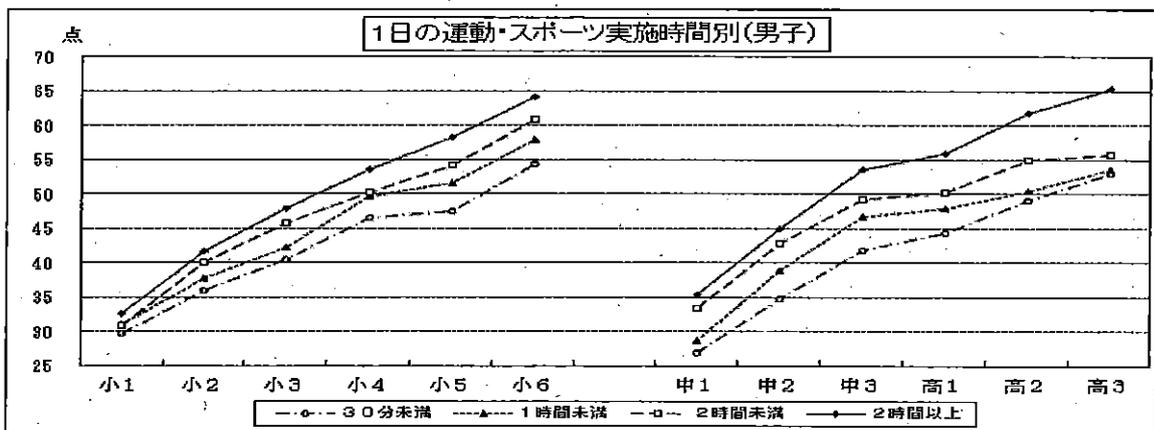
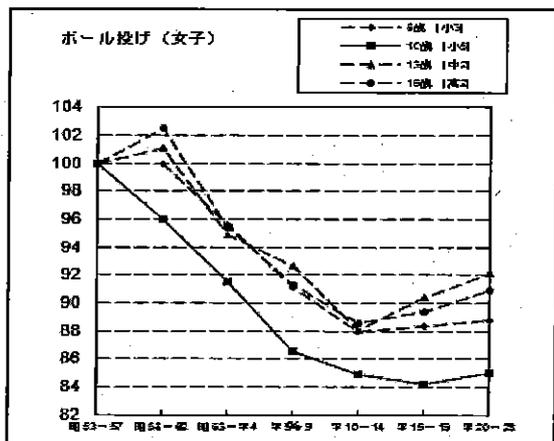
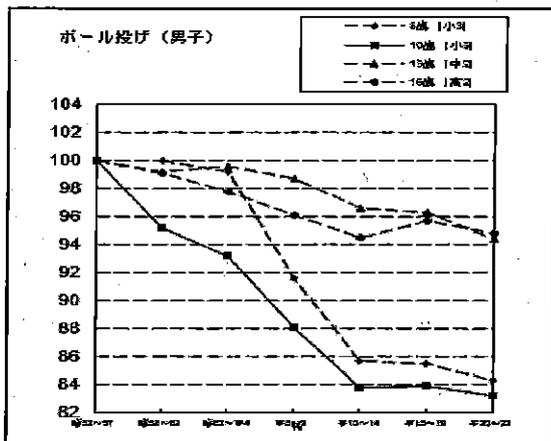
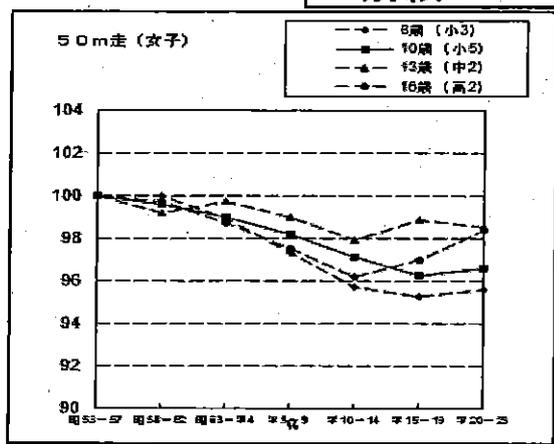
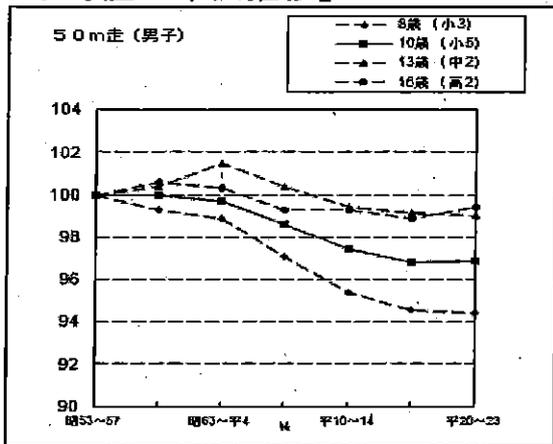
※検定の見方…検定の数値の式によって計算したtの値が1.96以上ならば、有意水準5%で有意差があると見る。

また、「-」がついている場合は、全国値より劣っていることを示す。

(例)「2.34」…全国値より優れている。「-3.21」…全国値より劣っている。「1.22」「-0.89」…有意差がない

「平均値の年次推移」

別紙 3



学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について

平成25年5月21日
スポーツ健康教育課

1 県内産食材使用率の推移

- 平成13年度から伸びてきている県内食材(県産品利用)の使用率が、平成24年度は71%となった。(市町村ごと、品目ごとの状況は、別添資料のとおり)

【県平均】

年 度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
使用率	37%	41%	47%	49%	50%	53%	54%	54%	57%	62%	66%	71%

*平成24年度は従来の県内産食材使用率(69%)に県内加工品使用率(2%)を加えた数値

- 各市町村が状況に応じた取組を積極的に実施

【主な事例】

- ・ J A、地元生産者、近隣地域等との連携強化による食材調達(生産者の出荷予定に基づいた献立作成、計画栽培品目の増加等)
- ・ 県内産食材調査品目以外の魚介類など、他の地元産食材も積極的に使用
- ・ 計画栽培野菜を活用した調理実習や収穫体験、交流給食会などを行い、児童生徒と生産者の交流を深め、地元食材の活用推進を図る
- ・ 栄養教諭、学校栄養職員を中心とした地場産物食材が生かせる献立の研究

2 平成24年度の主な取組

- 関係機関等による県産品利用(地産地消)推進会議の開催(24.5.25)
- 地場産物を使用した学校給食献立調理講習会の実施(24.10.30)
- 安全安心のための学校給食調理師研修会の実施(24.8.22)
- 「県民の日」「全国学校給食週間」の取組として、県内産食材を活用した学校給食を提供するとともに、献立の工夫や食に関する指導を推進
- 平成23年12月に制定された「鳥取県産業振興条例」を受け、生産地別使用状況調査に新たに「県内加工」の項目を加えるとともに、県内加工も県産品利用として扱うことを会議等で周知を行った。

3 今後の取組

学校における地産地消を推進し、子どもたちに安全安心な食の提供や地域の食文化を伝えることにより、郷土を大切に作る心や感謝の心を育むため、引き続き、市町村及び関係機関と連携して取り組んでいく。

また、栄養教諭、学校栄養職員を対象にした研修会等において、県内産食材に関する情報の共有化を図り、全県の食材の使用を推進する。

<平成25年度の取組>

平成24年度の取組(「栄養教諭、学校栄養職員との意見交換会」「学校給食献立調理講習会」「学校給食調理師研修会」「県民の日、全国学校給食習慣での取組」「県産品利用の推進」)に加え、新たに以下についても取り組んでいく。

- 学校給食関係者等を対象とした県産品利用推進会議に漁業関係者にも参加していただき、学校給食における魚食の推進について意見交換や情報交換を行う。

平成24年度 学校給食用食材の生産地別使用状況調査(市町村別)

米、麦、牛乳を除く主な使用食材44品目の使用実態を使用重量の割合でまとめたものである。

平成24年度合計

区分	県産品利用								その他				合計 使用量(kg)	
	<地産地消> ①県内産(原材料)		県内加工				県産品利用 計		④国内産(原材料)		⑤外国産(原材料)			
	使用量(kg)	使用比率	使用量(kg)	使用比率	③原材料:外国産		使用量(kg)	使用比率	使用量(kg)	使用比率	使用量(kg)	使用比率		
					使用量(kg)	使用比率								
鳥取市	旧鳥取市	240,528	61%	2,132	1%	18,091	5%	260,751	66%	133,715	34%	326	0%	394,792
	国府	19,373	77%	0	0%	126	1%	19,499	78%	5,547	22%	0	0%	25,046
	河原	23,750	85%	304	1%	0	0%	24,053	87%	3,729	13%	0	0%	27,783
	佐治	3,893	83%	28	1%	0	0%	3,920	83%	777	17%	0	0%	4,697
	気高	20,070	86%	0	0%	166	1%	20,236	86%	3,220	14%	0	0%	23,456
	鹿野	7,673	80%	48	0%	0	0%	7,720	81%	1,821	19%	2	0%	9,543
	青谷	11,765	75%	0	0%	634	4%	12,399	79%	3,279	21%	20	0%	15,697
	合計	327,051	65%	2,511	1%	19,016	4%	348,578	70%	152,089	30%	348	0%	501,015
米子市	165,387	65%	54	0%	2,001	1%	167,442	66%	84,924	34%	541	0%	252,907	
倉吉市	94,267	67%	127	0%	3,994	3%	98,388	70%	42,347	30%	350	0%	141,085	
境港市	41,852	71%	0	0%	285	0%	42,137	71%	16,902	29%	0	0%	59,039	
八頭町	32,647	77%	797	2%	502	1%	33,946	80%	8,284	20%	0	0%	42,230	
智頭町	11,549	74%	0	0%	490	3%	12,039	77%	3,533	23%	0	0%	15,573	
岩美町	25,063	76%	10	0%	783	2%	25,856	79%	6,952	21%	0	0%	32,808	
若桜町	5,967	85%	1	0%	212	3%	6,180	88%	844	12%	2	0%	7,026	
湯梨浜町	羽合	22,506	73%	0	0%	335	1%	22,841	74%	7,850	25%	154	0%	30,845
	泊	4,254	72%	45	1%	201	3%	4,500	76%	1,380	23%	22	0%	5,901
	東郷	12,130	69%	2	0%	317	2%	12,450	71%	4,995	28%	129	1%	17,574
	合計	38,890	72%	48	0%	853	2%	39,791	73%	14,225	26%	304	1%	54,320
三朝町	19,514	90%	37	0%	363	2%	19,914	92%	1,782	8%	0	0%	21,696	
北栄町	32,630	80%	109	0%	15	0%	32,754	80%	8,240	20%	0	0%	40,994	
琴浦町	34,804	73%	376	1%	214	0%	35,394	74%	12,295	26%	34	0%	47,724	
大山町	中山	8,525	71%	27	0%	0	0%	8,552	71%	3,460	29%	0	0%	12,012
	名和	11,581	74%	0	0%	65	0%	11,646	74%	4,023	26%	0	0%	15,669
	大山	12,063	74%	0	0%	66	0%	12,129	74%	4,161	26%	0	0%	16,290
	合計	32,169	73%	27	0%	131	0%	32,327	74%	11,644	26%	0	0%	43,971
日吉津村	5,154	84%	4	0%	0	0%	5,158	84%	950	15%	35	1%	6,143	
伯耆町	21,860	79%	0	0%	0	0%	21,860	79%	5,672	21%	0	0%	27,532	
南部町	西伯	14,798	71%	0	0%	0	0%	14,798	71%	6,099	29%	2	0%	20,899
	会見	7,927	77%	0	0%	0	0%	7,927	77%	2,428	23%	0	0%	10,354
	合計	22,725	73%	0	0%	0	0%	22,725	73%	8,526	27%	2	0%	31,253
江府町	4,593	81%	92	2%	0	0%	4,685	83%	963	17%	0	0%	5,648	
日野町	5,603	74%	130	2%	0	0%	5,733	76%	1,832	24%	0	0%	7,565	
日南町	7,836	76%	0	0%	605	6%	8,441	82%	1,761	17%	75	1%	10,277	
総合計	929,562	69%	4,321	0%	29,465	2%	963,348	71%	383,765	28%	1,691	0%	1,348,804	

*個々のデータを四捨五入で入力しているため、合計が100%にならない場合や合計値に若干誤差が生じる場合があります。

平成24年度 学校給食用食材の生産地別使用状況調査

市町村名 平成24年度合計

区分		県産品利用								その他				計
		<産地地消>		県内加工				県産品利用		④国内産(原材料)		⑤外国産(原材料)		
		①県内産(原材料)		②原材料:国内産		③原材料:外国産		計						
		使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	
野菜類等	大根	63,516	81%	0	0%	0	0%	63,516	81%	14,846	19%	0	0%	78,361
	にんじん	55,088	49%	0	0%	88	0%	55,186	49%	57,161	51%	0	0%	112,347
	白菜	41,498	75%	0	0%	0	0%	41,498	75%	13,807	25%	0	0%	55,305
	キャベツ	84,458	59%	0	0%	0	0%	84,458	59%	57,658	41%	0	0%	142,116
	ほうれん草	22,648	74%	0	0%	0	0%	22,648	74%	8,086	26%	0	0%	30,735
	ネギ	10,889	82%	0	0%	0	0%	10,889	82%	2,444	18%	0	0%	13,333
	白ネギ	29,190	98%	0	0%	0	0%	29,190	98%	299	1%	0	0%	29,489
	きゅうり	30,963	66%	0	0%	0	0%	30,963	66%	16,084	34%	0	0%	47,048
	トマト	5,584	62%	27	0%	90	1%	5,701	63%	2,778	31%	585	6%	9,064
	じゃがいも	48,106	53%	0	0%	0	0%	48,106	53%	42,743	47%	0	0%	90,849
	さといも	21,678	90%	903	4%	0	0%	22,581	93%	1,629	7%	0	0%	24,210
	さつまいも	19,706	92%	0	0%	0	0%	19,706	92%	1,687	8%	0	0%	21,393
	たまねぎ	70,464	36%	0	0%	0	0%	70,464	36%	124,624	64%	0	0%	195,088
	かぼちゃ	10,541	82%	113	1%	0	0%	10,654	83%	2,056	16%	96	1%	12,806
ブロッコリー	17,213	78%	0	0%	0	0%	17,213	78%	4,921	22%	48	0%	22,182	
ながいも	8,312	95%	0	0%	0	0%	8,312	95%	467	5%	0	0%	8,779	
たけのこ	9,035	63%	47	0%	0	0%	9,082	63%	5,285	37%	12	0%	14,379	
小計	548,898	60%	1,090	0%	178	0%	550,167	61%	358,574	39%	741	0%	907,482	
果物	りんご	3,153	43%	8	0%	0	0%	3,161	43%	4,178	57%	0	0%	7,340
	なし	11,335	100%	0	0%	0	0%	11,335	100%	0	0%	0	0%	11,335
	柿	4,198	100%	0	0%	0	0%	4,198	100%	15	0%	0	0%	4,212
	ぶどう	471	98%	0	0%	0	0%	471	98%	12	2%	0	0%	482
	みかん	182	3%	0	0%	0	0%	182	3%	6,652	97%	0	0%	6,833
	メロン	4,719	96%	0	0%	0	0%	4,719	96%	193	4%	0	0%	4,912
	いちご	722	73%	0	0%	0	0%	722	73%	265	27%	0	0%	987
小計	24,780	69%	8	0%	0	0%	24,787	69%	11,314	31%	0	0%	36,101	
魚介類	トビウオ	4,681	100%	0	0%	0	0%	4,681	100%	21	0%	0	0%	4,702
	カレイ	8,884	98%	0	0%	0	0%	8,884	98%	9	0%	131	1%	9,024
	イカ	11,203	93%	114	1%	123	1%	11,439	95%	500	4%	106	1%	12,045
	アジ	16,134	93%	7	0%	1,036	6%	17,177	99%	93	1%	81	0%	17,351
	白ハタ	5,867	100%	16	0%	0	0%	5,983	100%	0	0%	0	0%	5,983
	小計	46,868	95%	137	0%	1,159	2%	48,164	98%	623	1%	318	1%	49,104
豆類	大豆	9,142	87%	176	2%	0	0%	9,318	89%	1,180	11%	0	0%	10,497
	豆腐	47,686	90%	1,948	3%	2,845	6%	52,479	99%	522	1%	60	0%	53,061
	油揚げ	5,645	63%	349	4%	2,852	32%	8,847	90%	61	1%	6	0%	8,913
	みそ	21,976	97%	17	0%	274	1%	22,267	98%	346	2%	22	0%	22,634
	おから	1,488	77%	75	4%	365	19%	1,928	100%	0	0%	0	0%	1,928
	小計	85,016	89%	2,465	3%	6,436	7%	94,918	98%	2,108	2%	88	0%	97,013
食肉類	牛肉(含ミンチ)	35,848	100%	0	0%	0	0%	35,848	100%	32	0%	0	0%	35,880
	豚肉(含ミンチ)	51,276	86%	181	0%	4,311	7%	55,768	93%	3,649	7%	0	0%	59,717
	鶏肉(含ミンチ)	70,352	96%	84	0%	0	0%	76,436	97%	2,226	3%	541	1%	79,203
	小計	163,476	94%	265	0%	4,311	2%	168,052	96%	6,206	4%	541	0%	174,799
キノコ類	えのきたけ	10,375	70%	0	0%	0	0%	10,375	70%	4,378	30%	0	0%	14,752
	しいたけ(生)	3,034	96%	0	0%	0	0%	3,034	96%	126	4%	0	0%	3,160
	干し椎茸	1,181	100%	0	0%	0	0%	1,181	100%	1	0%	0	0%	1,181
	なめこ	2,582	77%	0	0%	0	0%	2,582	77%	759	23%	0	0%	3,341
	小計	17,171	77%	0	0%	0	0%	17,171	77%	5,264	23%	0	0%	22,435
その他	鶏卵	17,579	90%	204	1%	0	0%	17,782	91%	1,655	9%	0	0%	19,438
	煮干し	5,013	100%	1	0%	0	0%	5,014	100%	17	0%	0	0%	5,030
	しょうゆ	19,859	53%	152	0%	17,381	46%	37,393	100%	4	0%	4	0%	37,401
	小計	42,451	69%	356	1%	17,381	28%	60,189	97%	1,676	3%	4	0%	61,869
合計	629,562	68%	4,321	0%	29,465	2%	663,348	71%	383,768	28%	1,691	0%	1,048,804	

- *①県内産(原材料): 県内産食材の使用量を記入する。(従来どおり)
- *②原材料:国内産、③原材料:外国産:①以外の県産品利用の使用量、「原材料:国内産」、「原材料:外国産」に区分してを記入する。
- *④国内産、⑤外国産:①、②、③以外の食材について、「国内産(原材料)」、「外国産(原材料)」に区分して使用量を記入する。